



やまぶき

一関市立大原小学校 校報 No. 17

2025.9.12 文責：校長 松田

宿泊学習(5年)

5年生は、9月10日(水)11日(木)の2日間にわたり県立野外活動センターで宿泊学習を行いました。自然の中でさまざまな活動を通じて、友達と協力し合いながら、絆を深める貴重な体験ができました。

宿泊学習では、「いかだ体験」「キャンプファイヤー」「フォトフレームづくり」「野外炊事」などのプログラムを行いました。いかだ体験では、自分たちで作ったいかだに乗り、水の上を進むという新鮮な体験に挑戦。「いかだをちゃんと動かせるかな？」と心配しながらも、力を合わせて作ったいかだでスムーズに進むことができました。

夜のキャンプファイヤーでは、みんなで出し物をしたり、フォークダンスをしたりして大盛り上がり。火を囲むという体験は、いつもとは違う特別な雰囲気を感じさせてくれました。

フォトフレームづくりでは、自然の素材を使ってオリジナルのフレームを製作。完成した作品には、一人一人の個性が光り、「おうちで飾りたい!」と嬉しそうな表情が見られました。

さらに野外炊事では、班ごとに協力してカレーを作りました。「じゃがいもがやわらかくなっているかな?」「ご飯が焦げないように!」と声を掛け合いながら作ったカレーは、きっといつも以上に美味しく感じられたことでしょう。

活動を通じて、子供たちは友達の大切さを実感し、助け合う気持ちが自然と育まれたようです。宿泊学習を終えた後、「友達のいいところを見つけることができた!」という声が多く聞かれました。

5年生の宿泊学習は、特別な経験をするだけでなく、自分自身を見つめ直し、周囲との絆をより深める場となりました。これからの学校生活でも、この体験を活かしてさらに成長していくことを期待しています。



石磨き体験(4年)

9月9日(火)、4年生が総合的な学習の時間に「石磨き体験」を行いました。この活動は、川底の石を磨いて余分な有機物を取り除くことで、かじかが戻ってくるきれいな川を目指す取り組みです。今回も、地域の「かじかの里」の皆さんからご指導・ご協力をいただきました。

活動当日、子供たちは軍手をつけ、古縄タワシを持ち、一つ一つ石を磨き上げました。団体の方から、川や石の役割、石磨きの効果、生態系のつながり等について説明を聞いた4年生は、「石をきれいにすることで、生き物が喜ぶ!」と意欲的に取り組んでいました。

自然環境を守る重要性を実感しながら活動を終えた子供たちからは、「かじかを見つけることができて良かった」「きれいな砂鉄川を守りたい」といった感想が聞かれました。このような体験を通じて、一人一人の行動が環境保護につながる大切さを学ぶ貴重な時間となりました。



心温まるご協力に感謝!

先日、暑い中、地域の方が来賓用駐車場の花壇や校地内の木の剪定をしてくださいました。お二人は、花壇のつつじや校門付近の松や桜の剪定をしてくださり、見る見るうちにすっきりと生まれ変わり美しく整いました。

次の日に登校をしてきて花壇を見た子供たちからは、「草がなくなって、すっきりしている!」「前よりきれいで気持ちがいい!」という驚きと喜びの声が上がりました。毎日通る道だからこそ、整えられたことが特別に感じられたようです。

通学路が快適になるだけでなく、地域の方の優しさや心温まる想いに触れることができました。ご協力に大変感謝しております。



手洗い指導(1・2年)

9月1日(月)、1・2年生が合同で手洗いの仕方について学びました。汚れが取れていない所を確認した後、手洗いのポイントを学びました。

